



会報

シルバー安芸高田

第2号

2006(平成18)年1月1日

■編集・発行
社安芸高田市シルバー人材センター
〒731-0544
広島県安芸高田市吉田町多治比611-1
電話(0826) 42-4411
FAX(0826) 42-1800



しめ縄奉納 (わら細工班)



年頭のご挨拶
理事長 坪井克己

新年明けましておめでとう
ございます。会員の皆様には、

お健やかに平成十八年の新春を御迎えにな
られましたこととお慶び申し上げます。

昨年五月通常総会に於いて、平成十七年
六月一日より平成十八年五月三十一日まで
一年間、新生センターの体制作り役員とし
て選任を頂き、不肖私が初代理事長とし重
責を担う事となり身の引き締まるおもいで
す。役員の皆さまのご協力のもと本所・支
所・出張所六拠点の事務局体制作り、並び
に約六百名の会員に依る地域班・職域班等
の組織作りなど役員一体となって取り組
んでおります。

最近の経済情勢は三位一体改革の社会情
勢の動きのなかで、シルバー人材センター
に対する国庫補助の削減策が打ち出されて
おります。当センターも国庫補助金の削減
は想定の内なかでの平成十八年度の予算編成に
なります。

安芸高田市の高齢化率は三十二%と大変
高くなりました、この様な観点からも、われわれ
シルバー人材センターの果たす役割は益々
重要になって参ります。

最後になりましたが、就業を通じて自ら
の生きがいの充実や、社会参加の増進を図
り、健康で働く意欲のある高齢者が「何時
でも何処でも」シルバー人材センター事業
に参画できる体制作りを推進します。皆様
方の強力なご支援とご指導を賜りますよう
お願い申しあげ、簡単措辞ではございます
が、ご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

安芸高田市長
見玉 更次郎



会員の皆さま 明けまして おめでとございます。

社団法人 安芸高田シルバー人材センター会員の皆様には、お元気で新年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。また、皆様方には市政の運営に温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、本市の「まちづくり」は、市民の皆様が安心して暮らせる自然豊かな田園都市、また、広島市や東広島市に通勤可能な利便性の高い活力ある地域づくりでございます。

そして、そのためには、社会基盤の整備とともに、地域振興組織を充実させ、市民と行政とが共に汗を流して地域を創り上げていく「協働のまちづくり」を目指しており、その実現にあたりましては、シルバー会員の皆様方の、人生の先輩として長年培われてこられた知恵と経験を發揮していただくことが、大きな力を与えていただけるものと考えております。

安芸高田市シルバー人材センターは、関係者の皆様の並々ならぬご尽力によりまして、以前にも増して安定した組織として、昨年四月

一日に発足されました。以来、今日まで会員の皆様方の貴重な経験と技能を多方面の業務に發揮していただいております、高齢者の就業の場の確保によります生きがいづくりはもとより、とりわけ福祉部門をはじめ市政の円滑な運営へ多大な貢献をいただいておりますことに、深く感謝し、敬意を表するものでございます。

急速に高齢化が進んでいます中山間地域にあつて、安芸高田市におきましては、高齢者の皆様の就労や社会参加を促進していただく、自主・自立の組織として、貴センターの果たされる役割は、ますます大きいものがございます。今後も引続き、活動の輪を広げていただきますことを期待しますとともに、行政といたしましても積極的に支援をさせていただきますと考えております。

年頭にあたり、本年が、会員の皆様方にとりまして、益々生きがいのある充実した年となりますよう、また、皆様の一層のご健康と、安芸高田市シルバー人材センターのますますのご発展とご活躍を祈念いたします。ごあいさついたします。



新年のごあいさつ

安芸高田市議会議員
松浦 利貞



新年あけましておめでとうございます。

平成十八年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素、皆様には、シルバー人材

センター事業を通して、地域社会の活性化と高齢者福祉の向上に貢献されていますこと、更には、本市の高齢者が社会参加する上での推進役としてご活躍いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

貴センターは、現在の厳しい経済情勢の中、堅実に業績を伸ばされております。これは、ひとえに会員の皆さまの真面目できめ細かい仕事ぶり、関係各位の御努力が地域社会に評価された結果であると深く敬意を表する次第でございます。

高齢化の急速な進展、「団塊の世代」がまもなく六十歳代を迎えることなどに伴い、高齢者の方々が長年培ってきた知識と経験を活かし、生き生きと活躍できるための環境作りが急務となっております。

昨年四月一日の(社)安芸高田市シルバー人材センター発足による地域の広域化により、独自性と融和を図っておられることと思います。

安芸高田市議会といたしまして「自主・自立・共働・共助」の精神のもと、多様な就業機会を提供する中核として、一層発展させますよう(社)安芸高田市シルバー人材センターと連携を図ってまいりたいと思っております。

どうか皆様方には、今後とも更に充実した活動を展開され、そのすばらしい経験と能力を地域に還元していただきますとともに、すべての市民が共に助け合い、健全な人生を送れる社会づくりに一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、(社)安芸高田市シルバー人材センターのますますのご発展と、今年一年の皆様方のご健勝と御活躍を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

講習会実施報告

高齢者向け料理教室

●女性会員（十月十二日・三二名）
男性会員は二月を予定



ハウスクリーニング講習会

●十二月六日（火）
会員の皆さんの知識・技能の向

上のため、講習会を行い、元気な社会をめざして、大勢の参加をお願いいたします。



女性料理講習会

●十月十二日

講師 常友照子栄養士
場所 吉田運動公園

生活習慣病予防のため、高齢者向け献立

黒豆ごはん、鮭のチャウダー

おろしあえ、黒糖ゼリー

●高齢者にやさしい食事

こんな状態が見られたら「要注意」主食・主菜のとり方が

少なくなってきた。

●体重の減少（一年で5%以上の減少）

●七十歳以上の一日の栄養摂取目標量は、適正なエネルギー

（一九〇〇カロリー）たんぱく質（六〇グラム）の補給、塩分十グラム未満

刈払機安全点検整備講習会

平成十七年度シニアワークショップ第二種で安全就業の技能講習会を甲田支所において行いました。

統合後、初の技能講習会を開催するに際して、講習会の趣旨を理解いただいているか心配しましたが予想を上回る八十五名の参加を得て、会員の安全就業に対する意識の強さを感じました。

自分が考えている安全と講習で得た安全の差について認識を新たに



さらに実技講習において安全就業を体験された感覚を就業の場で活かして



下さい。だんだんと高年齢になっていく中で散漫となりがちながら、安全就業講習会等で養っていただくことによって、皆さんのシルバー人材センターが一番信頼される団体となることの一大きく、今後も継続して行いたいと思います。



吉田

「しめ縄班」(独自事業)

わら細
工班は、

しめ縄、ぞつり、わらじなど各種のわら加工を行って八年余になります。なかでも「しめ縄」は好評を受けて、製作に忙しく九月下旬から殆んど休むことなく就業(約四ヶ月)しております。

おかげをもちまして、神社用のしめ縄、ご家庭・企業用の輪飾り、神棚のごぼう締めなど、多くの皆様方にご利用いただき厚くお礼申し上げます。

さらに、会員の就業機会拡大に向けて、広島中央市場「花満」(西区)へ出荷しております。

出荷目標は二千個。

収入を二百五十万円と掲げ、もちわら作りから計画し、わら細工会員の拡大に取り組んでおります。興味をお持ちの方は是非ともお声をかけて入会くださいませうお待ちしております。



甲田

花・野菜苗作り

園芸班は、四季の花づくりを始め

て三年となりますが、何分素人の集まりで日々研鑽しながら栽培しております。

現在は、葉牡丹とパンジーの手入れで忙しく就業しております。年間の花や野菜の苗を栽培して、その数約三千二百本を生産し、地域振興会・福祉施設・商店や地域のイベントに積極的に参加しPRに努めながら皆さんに販売しております。

県道・市道沿いに花壇を設置し四季ごとに花を植付けて、通行人やドライバーの皆さんの楽しんで頂いております。

今後は、栽培知識を習得し生産意欲を向上し花・野菜苗のハウス栽培を手掛け会員の就業機会の拡大を図りたいと思っております。

今後は、栽培知識を習得し生産意欲を向上し花・野菜苗のハウス栽培を手掛け会員の就業機会の拡大を図りたいと思っております。



八千代

手芸活動を中心に!

手芸教室は、女性会員が僅か八名で活動を行っております。

会員同士の交流や顔を合わせることも少ないとの意見がありいろいろ話し合いました。

そして、九月から毎週金曜日を「手芸の日」に決め、午後の二〜三時間を都合のつく者が集って事務所の一角で行っています。

講師は、手芸活動を長くしておられる方にボランティアでお願いし、会員や近所の御婦人たちとおしゃべりに華が咲き、手のほうがお休みになりながら作業をしています。

作品はまだ少ないですが古布を利用してタペストリーやコースター、どんぐりのブローチ、手提げ袋などを製作しています。

皆の夢は何時か「シルバーの即売会」に出品してみたいことです。そしてこれが当所の独自事業に育っていかばと考えます。



美土里

会員の皆様には御壮健にて二〇〇六年の初春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。



祝

さて美土里出張所は、一九九三年(平成五年十二月)美土里町高齢者能力活用協会として、高田郡内吉田町に続いて二番目の発足となり、当初は四三名の会員でスタート一時期は一〇一名となった時もありました。神楽門前湯治村の清掃を

始め、草刈り、葬儀関係に至るまで、幅広い活動をできるようになりました。統合等で、大幅に遅れましたが、一昨年二月十周年記念式典が挙行されるまでに至り、そうして昨年四月一日安芸高田市シルバー人材センターとして設立されました。「自主・自立・共働・互助」の基本理念のもとに、地域の皆様方から信頼されるよう、会員と役員が一丸となって事業推進に努めなければ、ならないと思っております。



高宮

高宮 出張所
平成十二年十月一日、高宮

高齢者能力開発協会として発足し、平成十七年四月一日安芸高田市シルバー人材センターに統合されて現在に至っております。

その間会員の皆様のご協力のもとに高齢者社会の一人として目標達成に向かって精進しております。

幸いにして出張所では初歩的段階かも知れませんが徐々に研修に参加できる体制になりました。中でも本年十月十五日にはボランティア活動として町内老人福祉センター「福寿荘」の裏庭の草取りや草刈りを行い、雨の中にもかかわらず二十数名の参加で環境美化の一環として実施して喜ばれました。又十一月十五日には、甲田支所での安全就業講習会へ当所から十八名の参加を得て、効果ある安全作業の認識を強くすることが出来たと思っております。これからも新規会員の入会をいただきシルバー人材センターの目的達成の為に邁進して行きたいと思っております。



向原

向原出張所の現在の会員数は、男性五十二名・女性十三名の六十五名で活動しています。今年度上半期実績も前年比百十六%を上まっております。

作業依頼のほとんどは、一般家庭からの受注です。特に高齢者の方からの受注が多く、一度依頼された方は「またお願いします」と再依頼も少なくありません。作業された会員の皆様の親切・丁寧な仕事、ふりがこのような結果を出しているのです。地域の方にきめ細かいサービスが出来るよう今後も取組んでいきたいと考えております。また、就業率アップを目標に会員の就業機会を提供できるよう事務所も努力し、安全就業を第一に考え、会員の皆様が健康で働く意欲がもてるように取組んでいきたいと考えています。

先般、十月十五日「シルバーの日」に向原町長田「ふるさと河原公園」の清掃作業を行いました。雨が降る中、集って作業していたとき深く感謝しております。



この紙面をかりてお礼を申し上げ、会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。

会員の声



総括地域委員(吉田)
信川 敏夫

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この度安芸高田市シルバー人材センター吉田地域の総括地域委員の委嘱交付を受けました。昨年四月合併し会員の皆様は地域にあつてそれぞれに活動してまいっている所ですが合併による会員が五六十名の大勢となり色々と不便なことが生まれて来、今度地域の連絡係としてお世話させていただきます。

早速第一回の総括地域委員の会合が持たれ配分金の一元化に向けての調整という内容で話し合いが持たれたことについては当然のことと思えますが種々意見が出た所です。この一元化に向けての意見内容は役員会に向けての資料として提出して戴くものと思いますが、役員会の中で取り計らいの方よろしくお願い申し上げます。

これから本部とのパイプ役が務まればと思っている所ですが、地域会員の皆様からの御指導をよろしくお願い申し上げます。



総括地域委員(甲田)
渡邊 學

あけましておめでとうございます。会員の皆様には新年をお健やかに迎えることとお喜び申し上げます。

甲田支所シルバー人材センターは、地域住民と地域の団体の協力を得ながら、高齢者に働く機会を提供して、生活観の充実を図ると共に相互の親睦と生きがいを求めるために、平成十年九月に、会員九三名で設立しました。(現在一四六名)

以来会員に適した仕事の開発と安全な就業するために、各種研修や技能講習集会等を開催して、各々の経験と能力を活かした専門部会が生まれ、剪定、襖障子張替、草刈り、草取り、園芸、葬儀祭壇組立撤収等それぞれ活発な活動をしています。

平成十五年三月には会員互助扶助の精神と福利厚生を目的で活動を通じて会員の親睦を高める会員互助会も設立しました。行事としては春には



桜の下で花見会、十月の「シルバーの日」には午前中をボランティアで小中学校校庭の植木剪定と除草、市道沿いの空き缶拾い等美化作業をして、午後はグラウンドゴルフでいい汗をかき親睦を図っています。

今後もしるバー人材センターの基本理念である「自主、自立、共働、共助」のもとに、生きがいのある高齢者で活動していきたいと思えます。



総括地域委員(八千代)
小積 讓

会員の皆様明けましておめでとうございます。

安芸高田市シルバー人材センターも旧町が統合して早や一年になろうとしております。

私達シルバー会員は自主・自立・共働・共助の理念のもとに、高齢者の豊かな経験と知識を活かして地域社会の発展に役立てる重要な役割を担っています。

総括地域委員として、地域委員等と協力しながら業務の推進により一層努力するつもりです。

私は以前から興味があった剪定技術を取得する為、平成十七年度緑化メンテナンス(第一種)講習会を受講し、約四ヶ月間厳しい講習で技術を磨きました。

これからも色々と学んだ事を活用

し、現場の確認、作業順位の把握等、マニュアルにそって安全就業に率先して取り組んで参りたいと考えております。



総括地域委員(美土里)
佐々木 光義

合併後、初の新年戌年をめでたく迎える事が出来ました事皆様方共に、同慶に思うものでございます。

総括委員の役に任命されましたものの、何分にも職務全うの精神がほぼつかなく、皆様方にご迷惑の数々かと思っておりますが、我が美土里町も合併以来五十余名の会員で、元事務局長であった。故小原敏男氏が懸命に築き上げていただいた活動路線の延長を合併後の安芸高田市シルバー人材センターの活動に多少の誤差はあるものの上手にドッキング出来ればと努力と勉強をしておるものでございます。何分にも今高田市は高齢化率が三〇%という厳しい社会を迎えております。こうした現状の中求められるものは当然、自主・自立・共働・共助の理念のもとに活動する私達の役目かと思えます。それには先ずなんといっても、健康と気力、それによってシルバー輝く人材センターとして誇りある活躍に精進出来る事を願って止まないものであります。



総括地域委員(高宮)
宮田浩之

今年十月一日付で、当シルバー人材センター総括地域委員の委嘱を受けました。宜しくお願いします。

(社)安芸高田市シルバー人材センターに統合前の高宮町高齢者能力活用協会(事務局長丸本富喜夫氏)は、平成十二年十月に七十五名の会員で発足し、会員一丸、就業に精励し、事業取扱高は決算期ごと「第一回十二年度(十月～三月)三、三三〇千円・第三回十四年度一三、一八〇千円・第五回十六年度一九、四三〇千円」と年々上昇して町内における高齢者活動を意識づけました。

作業は数名のグループで行うので特にチームワークが大切で、機械作業等は特に事故防止に万全を期す必要があります。

会員は、常日頃から交流、対話等、情報交換しながら健康・自己管理に努めることが求められます。統合した初年度の受託目標(高宮出張所)一六、〇〇〇千円に対して十月末現在の実績は一七、二〇〇千円です。更なる上積みに向けて頑張りましょう。



総括地域委員(向原)
西岡昭治

新シルバー発足後まもなく一年になろうとしている。地域班の制度は、もともと数千人規模の会員数を持ち、お互いのヨコ

の連帯が希薄で顔も知らないような都市部で組織された。

合併で広域化した我々の場合、これら地域班の目的・役割の他にも、合併デメリット解消のためにも自ずから多様化が必要で、新たな役割が求められてきていると考える。

向原町では、町選出の理事・監事と地域班委員とで独自に「協力会」組織を立ち上げた。

市の「〇〇地域振興会」のシルバー人材センター版である。

合併により会員と本部部門との関係が遠くなり、会員の意見や要望が反映し難くならないよう、地域の実情や課題に即した自主的でキメ細かな対応と双方の意見疎通を図り、合併のメリットがより生きてくるよう「協力会」として努めていくことが趣旨である。ご理解とご協力を賜りたい。

安全標語の入選発表

応募者二十名四十作品を七名の委員が厳正に審査した結果六作品を七月十三日に優秀賞とし、九月十二日本所において表彰しました。多数の応募をいただきありがとうございます。今後も研鑽をつまれますようご期待申し上げます。

シルバーの無事故の笑顔家庭まで
坪井千枝子(吉 田)
安全は注意の積重ね
京極 義憲(向 原)

安全は組織ぐるみの合い言葉

山本 勝(八千代)

就労は一にも二にも先ず安全

山岡 正子(甲 田)

安全はシルバー事業の羅針盤

渡辺 正美(甲 田)

チョットした心のゆるみが事故のもと

飯森 義明(吉 田)

この標語にありますことを安全就業に役立て、無事故で、地域に貢献してください。

安全標語選考委員会

日ごろの安全等の取組状況について

ヒヤリ・ハットに思う

安全適正就業が守られていればシルバー人材センターで働く人の事故がおこらないわけです。

しかし、誰れの回りにも危険がいつばいあり、家を出て家に帰るまでヒヤリ・ハットの連続であると言っても過言ではないでしょう。全国の統計をみても、事故の多いのは剪定作業・次いで草刈やチェーンソー等の機械を使う作業となっています。

作業中は安易な行動、一瞬の気の緩みや油断が事故につながっています。重大な事が起こらなかつたら、ヒヤリ・ハットで終り「今日もよかつた」で一日が暮れます。反省と課題を大切にして、ヒヤリ・ハットをプラスにとらえ、「シルバーで働いてよかつた」と皆でさえあつて、仲間づくりを進め、健康で生き甲斐のある毎日にしたものです。



会員互助会

の活動状況

心温まる交流会 会員互助会の動き



吉田町地域会員
互助会
会長 春日 信次



10月 研修・交流会

会員互助会は「共助の精神に基づき、会員の相互扶助及び福利厚生を図ること」を目的として、平成十二年に設立され、(社)安芸高田市シルバー人材センターの発足に伴い「吉田町地域会員互助会」と名称変更し、今日に至っております。センター会員即互助会会員の方針のもとに全員加入を達成しました。高齢者の豊かな経験と知識を活かし、就業機会の提供と福利・厚生面の充実に努めてまいります。「安全

就業」を通して、支え合いの関係を大切にし、社会貢献が出来ることは自らの生き甲斐を創出することにもつながると思えます。会員互助会設立以来、役員は言うに及ばず、会員の皆さんの協力を頂きながら、恒例の年間行事を盛會裡に開催することが出来ました。

(一) 輪投げ大会(三十七名参加)

日時 六月五日(日)

場所 吉田運動公園体育館

(二) グラウンドゴルフ大会

(八十一名)

日時 十月十六日(日)

場所 吉田運動公園

(三) 研修・交流会(八十五名)

日時 十月三十日(日)

場所 かんぽの宿 三瓶

秋空でのプレイ、懇親会での交流は多くの会員の楽しみとなっております。そこには、健やかに地域の仲間と触れ合い、新たな「元気出し」につながる要素が多分にあると思われまふ。このように、互助会活動はシルバー事業をスムーズに潤滑させる役割をもつと同時に



なごやかな懇親会

に、文化的側面をも担っていると思えます。次年度では六町域の参加によって「(社)安芸高田市シルバー人材センター会員互助会」として発足することを期待するものです。

会員のみな様のご健勝とますますのご活躍を祈念いたします。

互助会活動報告



甲田町地域会員
互助会
会長 重光 清

あけましておめでとうございませう。

会員の皆様におかれましては、つつがなくご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。平素は当互助会の運営に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。(社)甲田町シルバー人材センターは平成十七年四月一日をもって、(社)安芸高田市シルバー人材センターに統合されました。



4月 三次グラウンドホテルにて花見の会

互助会は、当分の間は今までおり事業を進めてまいることとなりました。会員も新たな気持ちで自主・自立・共働・共助の理念のもとで相互扶助及び福利厚生を図り現在に至っております。甲田町地域会員互助会は平成十七年の行事として、四月花見「六月は、総会を兼ねて三次グラウンドホテル(写真)」や十月のシルバーの日の本会の事業と合同での親睦グラウンドゴルフ大会を「小田小学校にて予定をしていましたが、雨天の為に中止となり、小学校の体育館を借りてバスケットのフリースローゲーム」そして十二月の親睦会は七日に「皆生温泉日帰りの旅」を多数の参加を頂き実施しました。以上甲田町地域会員互助会の報告とします。平成十八年度は、(社)安芸高田市シルバー人材センターを計画して親睦を深め相互扶助を図ればと思っております。

最後に皆様のご支援とご指導の程よろしくお願い申し上げます。



10月シルバーの日、小田小学校体育館にてフリースローゲーム

4部会の動き

総務部会



部会長 行友 勉

総務部会は、十名の理事で構成され、第一回総務部会が、七月十二日に開催されました。

安芸高田市シルバー人材センターが発足し、初めての総務部会でもあり、主に「総務部会」の任務等について説明を受け協議を行いました。第二回の総務部会は、九月十四日に開催され、
(1)地域班組織の編成について、(2)全国ボランティア活動の取組みについて、(3)会員互助会の決定について、(4)公益法人の新会計基準について、(5)センターの組織体制の見直し及び検討について、(6)センターの理事研修について提案され協議を行いました。

今年度は、六拠点のシルバー人材センター等が統合した初年度であり、均衡で統一的な事業の運営を図るためにも、各拠点ごとに地域班の編成をお願いし、九月二十日の理事会で「組織を編成することについて」承認されました。

事業部会



部会長 児玉征之助

事業部会では、会員に適した仕事の開拓や提供に関する事、研修や能力開発に関する事、就業についての相談に関する事、独自事業の展開や運営に関する事等の審議を行っています。

本年度行いました主な行事としては、十月十五日の『シルバーの日』を中心にして、地域の実情に沿ったボランティア活動を行ったことがまぶあげられます。また、十月十九日には理事の研修会を高宮福寿荘で開催しました。そして、十一月十五日には刈払機安全点検整備実技講習会を開催、実技を甲立多目的広場で、参加者六十一名が受講しました。
現在検討しています事柄は旧町により、異なる配分金単価の一元化へ向けての調整についてです。来年の四月一日には一元化されるよう問題点等の検討をしております。今後とも事業部会の活動にご協力の程御願ひ致します。

福祉部会



部会長 山岡 正子

平成十七年度の協議事項は、福祉・家事援

助サービス事業の受託について
◎軽度生活援助事業
●高齢者(六五歳以上)が対象
●一ヶ月四時間限度、一年四八時間限度
●全市に拡大を望む
◎寝具類乾燥・消毒サービス事業
●全市に拡大したいが布団乾燥車が現在一台のみであり、看護の大きな課題である。

広報部会



部会長 山口 康文

- 創刊号(七月一日)
- 通常総会
- 十七年度事業計画
- 事務局組織図の
- 吉田町地域会員互助会役員紹介
- 役員、職員の紹介
- 安全就業標語の募集
- 会報「シルバー安芸高田(書体、カラーの統一)」
- 会報第二号発刊(一月一日)
- 独自事業「しめ縄」の写真採用
- 講習会等実施報告
- 会員の声(各町一名)
- 安全警鐘(日頃の安全等の取組み)

安全委員会



委員長 新家 一夫

新年明けましておめでとございます。会員皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今、日本人の平均寿命は年々伸びて男女共に世界一の長寿国となりました。これから日本の社会は、人類の経験したことのない超高齢者社会へと進んでいきます。

人生に定年はありません。常に生涯現役という気持ちを持ち続け、挑戦してこそ人生なのです。シルバー事業は、働く意欲のある高齢者が働くことを通して自分からの福祉を実現することを趣旨としており、事故の発生はもとより、事故の不安を抱くような就業の皆無を目指すこと。このため、会員一人ひとりが安全就業についての理解を高め、着実な無事故・無災害の成果をあげることが目的に、役員、会員一体となつてのご支援ご協力の程お願い申し上げます。終わりに、皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。



お仕事を承ります

1月から2月は、庭木の病害虫の防除の時期です。電話で注文を承ります。 **会員募集中**

高齢者の豊かな経験と能力を生かします。

こんな仕事を引き受けます

大工・左官、植木の剪定・消毒・チップ処理、除草・草刈り、清掃、屋内外の軽作業、ふすま・障子の張り替え、宛名・賞状書き、一般事務、留守番、建物管理、集金・配達、自動車運転、費物・洗濯等福祉・家事援助サービス、竹炭



夏から秋に向けて植木のせん定の時期です。電話で注文を承ります。

シルバーフェア広島“2006”

とき 平成18年2月4日(土) 10:00~16:00
2月5日(日) 10:00~15:00
場所 広島県立産業会館 西展示場
参加方法等は、地域委員さんを通して案内します。

技能講習会

- 2月 高齢者向け料理講習会
- 2月 パソコン教室
- 3月 交通安全指導教室

会員さんにお願

就業報告書に、仕事が完了した確認印をお客様からいただき、速やかにシルバーセンター業務担当に提出してください。



ステンドグラススキルト製作をして、難しいものでしたが仕上がった時は、満足でした。シルバーフェアに参加し、地元の各種イベントにも出品しております。これからも色々な作品に挑戦して行きます。興味のある方は、お気軽に立ちよ

りください。(甲田)

会員募集中

○安芸高田市内に居住され、原則六十歳以上の働く意欲のある健康な方なら、ごなたでも会員になれます。(年会費二五〇〇円)
○入会説明会各拠点(毎月二十日(土)、日、祝祭日はその翌日)

配分金支払証明について

平成十八年二月十六日から三月十五日までの一か月間は、確定申告の期間です。シルバー人材センターで平成十七年中に仕事をした配分金支払証明書を一月下旬にはお届けしますので、申告の際は必ず使用してください。

シルバーからのお願い

安全就業の徹底

会員さんがお客さまの依頼を受けて作業(就業)を行いますが、『安全就業』を完遂し、安全はすべてに優先することを第一義に実行し、家庭を大切に、安心して就業いただくためにも健康管理をしてください。



一わら細工加工一

シルバー独自事業等紹介

しめ縄・輪飾りの製作を行い、千五百個販売し、市民の皆様にご購入いただき、大変よろこんでいただいております。(吉田)

襖・障子張りをを行い、その都度新しい難問に出くわし、何事も体験第一と受けとめ努力しております。お客様からお褒めの言葉をいただき感謝し、技術の向上をモットーに努力を重ねて、楽しい生きがいの場を作りたい。

編集後記

昨年四月に安芸高田市シルバー人材センターとして立上り暗中模索のなか、十月のボランティア活動、各支所、出張所の総括地域委員の選出等々、組織づくりを固め、役員、会員総ぐるみ、一丸となって新しい道を少しずつ切り拓き前進した、その形跡は見られませんが、さらに、気持ちを新たに、気心を充実して脈絡一貫、理事長を核心に精進と努力を重ねる必要があります。今後は職務班の充実等々課題を一つ一つクリアしてまいります。広報部会も皆さんのご支援ご協力を得ながら、会報第二号を発刊いたしました。原稿をお寄せ下さった方々の期待に応うよう一段と充実したものにしたいと全力を傾注する意気込みです。今後とも活動状況、実績報告、グループ活動等沢山の寄稿をお待ちしていますので、よろしくお願いたします。終わりにあたり新年が皆様にとって、ご壮健で和やかな年になりますようお祈り申し上げます。 広報部会

お悔やみ
美土里町 吉田町 福島博隆様 (九月)
松本博様 (十月)
吉田町 正田信幸様 (十月)
謹んでご哀悼の意を表しお祈り申し上げます。

花・野菜苗の販売

花・野菜の苗 市価の3~4割安で好評発売中。皆様のご注文をお待ちしています。

チップ堆肥の販売

20ℓ 袋 200円 40ℓ 袋 350円

※軽四ダンプ1台 3000円で
※広島市近郊の配達サービスは、50袋以上のご注文とさせていただきます。